



平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年10月5日

上場会社名 株式会社ダイケン 上場取引所 東
 コード番号 5900 URL <http://daiken.ne.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 藤岡 洋一
 問合せ先責任者（役職名） 取締役総務部長（氏名） 北脇 昭 (TEL) 06-6392-5551
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の業績（平成30年3月1日～平成30年8月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	5,092	0.6	△26	—	△14	—	△14	—
30年2月期第2四半期	5,059	3.9	107	34.1	113	42.3	75	55.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
31年2月期第2四半期	△2.51		—					
30年2月期第2四半期	12.79		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	14,731	11,953	81.1
30年2月期	15,196	12,058	79.4

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 11,953百万円 30年2月期 12,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
31年2月期	—	0.00	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	1.2	280	△28.5	290	△27.6	175	△34.4	29.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

31年2月期2Q	5,970,480株	30年2月期	5,970,480株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

31年2月期2Q	97,932株	30年2月期	97,932株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

31年2月期2Q	5,872,548株	30年2月期2Q	5,872,660株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用、所得環境の改善や企業の設備投資の増加などから緩やかな回復傾向にあるものの、原油価格の上昇などにより個人消費は力強さを欠くものとなりました。また、海外におきましても、米国の通商政策を巡る対立や中東、東アジア情勢などの地政学的リスク拡大の恐れなど、先行き不透明な状況で推移しました。

需要先であります建設業界におきましては、貸家の着工需要の減少などから新設住宅着工戸数は減少傾向にあり、人材不足の影響からの着工遅れや先送りが生じるなど本格的な回復には至っておりません。また、原材料価格の高止まりや運搬費の高騰が続く中、西日本豪雨の影響などから西日本地域における交通網が打撃を受けるなど厳しい経営環境となりました。

このような中、多くの得意先の展示会へ参加するなど積極的なPR活動を展開してまいりました。また、為替や原油価格の高騰などによる原価、販売費の増大に対して、比較的利益率の高い製品の拡販に努めるなどの対応を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高につきましては、50億92百万円（前年同期比0.6%増）となりました。利益面では、高騰する運搬費や材料費の高止まりの影響を販売価格へ反映させるなどの対応策を講じましたが、第1四半期の損失を挽回するに至らず、営業損失は26百万円（前年同期は1億7百万円の営業利益）となりました。また、経常損失は14百万円（前年同期は1億13百万円の経常利益）、四半期純損失は14百万円（前年同期は75百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(セグメント売上高)：当第2四半期累計期間（自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日）

セグメントの名称	金額(千円)	前年同期比(%)	構成比(%)
建築関連製品	5,007,661	100.6	98.3
不動産賃貸	84,756	102.4	1.7
合計	5,092,417	100.6	100.0

(建築関連製品)

建築関連製品につきましては、マテハン部品について用途提案による拡販を継続して展開したことで、建築金物関連が比較的堅調に推移しました。また、エクステリア関連では、ホームセンターにおける物置の販売や取換需要のあったホームタンクなどが好調に推移しました。

一方で、外装建材関連などの現場金物製品は他社との価格競争が激しく、また、材料費や人手不足からの人材派遣料の増加、運搬費の高騰などコストの増大もあり、厳しい状況が続いております。

その結果、売上高は50億7百万円(前年同期比0.6%増)、セグメント利益(営業利益)は、92百万円(前年同期比58.2%減)となりました。

(不動産賃貸)

不動産賃貸関連につきましては、経年劣化等に伴う設備等の更新費用は生じているものの、収益の主力でありますワンルームマンションは、法人や学生向け単身者世帯の需要を得ることで高い稼働率を維持しており、法人向けテナントと共に安定した収益を確保しております。

その結果、売上高は84百万円(前年同期比2.4%増)、セグメント利益(営業利益)は47百万円(前年同期比10.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて4億65百万円減少し、147億31百万円となりました。これは、現金及び預金が38百万円増加したものの、電子記録債権等の売上債権が4億96百万円減少したことが主因であります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ3億60百万円減少し、27億77百万円となりました。これは、電子記録債務等の仕入債務が2億21百万円減少したことや前事業年度の法人税等の納付に伴い未払法人税等が1億6百万円減少したことが主因であります。

なお、純資産は、前事業年度末に比べ1億5百万円減少し、119億53百万円となりました。これは、前事業年度に係わる配当金の支払いや四半期純損失を計上したことから利益剰余金が1億2百万円減少したことが主因であります。

この結果、自己資本比率は81.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少による収入4億96百万円があったものの、仕入債務の減少による支出2億35百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べて2億12百万円収入が減少し、2億56百万円の収入となりました。

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出96百万円や無形固定資産の取得による支出22百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べて1億60百万円支出が減少し、1億30百万円の支出となりました。

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額87百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べて0百万円支出が減少し、87百万円の支出となりました。

これらの結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ38百万円増加し、31億61百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階におきまして、平成30年9月14日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しております業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,857,116	3,896,000
受取手形	796,021	567,404
電子記録債権	1,642,085	1,521,362
売掛金	1,580,936	1,434,221
商品	6,609	9,614
製品	737,203	674,832
原材料	441,592	469,732
仕掛品	295,106	320,569
貯蔵品	28,403	44,792
繰延税金資産	87,704	89,010
その他	29,199	39,185
貸倒引当金	△591	△352
流動資産合計	9,501,388	9,066,373
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,819,389	1,769,990
機械及び装置(純額)	580,203	586,516
土地	2,037,350	2,037,350
その他(純額)	166,455	177,991
有形固定資産合計	4,603,398	4,571,848
無形固定資産		
無形固定資産	79,473	74,738
投資その他の資産		
投資有価証券	784,523	779,751
関係会社株式	20,000	20,000
保険積立金	153,303	164,598
その他	61,532	60,377
貸倒引当金	△6,650	△6,650
投資その他の資産合計	1,012,710	1,018,077
固定資産合計	5,695,582	5,664,664
資産合計	15,196,970	14,731,038

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	250,767	159,162
電子記録債務	1,356,492	1,313,718
買掛金	511,567	424,377
未払金	149,648	155,990
未払費用	132,644	130,023
未払法人税等	118,450	11,458
賞与引当金	159,168	145,818
役員賞与引当金	18,500	9,250
その他	93,743	81,919
流動負債合計	2,790,982	2,431,718
固定負債		
役員退職慰労引当金	120,775	125,850
繰延税金負債	120,319	114,299
その他	105,949	105,972
固定負債合計	347,043	346,122
負債合計	3,138,025	2,777,840
純資産の部		
株主資本		
資本金	481,524	481,524
資本剰余金	250,398	250,398
利益剰余金	11,055,567	10,952,756
自己株式	△56,050	△56,050
株主資本合計	11,731,439	11,628,628
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	327,505	324,569
評価・換算差額等合計	327,505	324,569
純資産合計	12,058,944	11,953,197
負債純資産合計	15,196,970	14,731,038

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	5,059,712	5,092,417
売上原価	3,445,708	3,546,638
売上総利益	1,614,003	1,545,779
販売費及び一般管理費	1,506,885	1,572,052
営業利益又は営業損失(△)	107,117	△26,272
営業外収益		
受取利息	47	46
受取配当金	12,819	15,288
その他	7,307	8,939
営業外収益合計	20,174	24,274
営業外費用		
支払利息	39	3
売上割引	11,925	11,818
為替差損	1,886	—
その他	97	356
営業外費用合計	13,949	12,177
経常利益又は経常損失(△)	113,343	△14,175
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	113,343	△14,175
法人税、住民税及び事業税	23,441	3,000
法人税等調整額	14,763	△2,452
法人税等合計	38,205	547
四半期純利益又は四半期純損失(△)	75,138	△14,723

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	113,343	△14,175
減価償却費	180,078	176,146
引当金の増減額 (△は減少)	△22,496	△17,763
受取利息及び受取配当金	△12,867	△15,335
支払利息	39	3
売上債権の増減額 (△は増加)	602,150	496,054
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△115,317	△10,625
仕入債務の増減額 (△は減少)	△104,591	△235,493
その他の資産の増減額 (△は増加)	△36,465	△12,604
その他の負債の増減額 (△は減少)	19,109	△10,482
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△8,288	△6,002
その他	△37	△1,185
小計	614,657	348,535
利息及び配当金の受取額	12,867	15,335
利息の支払額	△39	△3
法人税等の支払額	△158,474	△106,909
営業活動によるキャッシュ・フロー	469,010	256,958
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△275,154	△96,096
有形固定資産の売却による収入	22	726
無形固定資産の取得による支出	△5,634	△22,147
定期預金の預入による支出	△735,000	△735,000
定期預金の払戻による収入	735,000	735,000
投資有価証券の取得による支出	△2,800	△3,037
その他	△7,375	△9,965
投資活動によるキャッシュ・フロー	△290,941	△130,522
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△119	—
配当金の支払額	△87,812	△87,694
財務活動によるキャッシュ・フロー	△87,931	△87,694
現金及び現金同等物に係る換算差額	44	141
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	90,181	38,883
現金及び現金同等物の期首残高	3,038,594	3,122,116
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,128,776	3,161,000

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額(注) 2
	建築関連製品	不動産賃貸	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,976,938	82,773	5,059,712	—	5,059,712
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,976,938	82,773	5,059,712	—	5,059,712
セグメント利益	222,205	43,399	265,604	△158,486	107,117

(注) 1. セグメント利益の調整額△158,486千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額(注) 2
	建築関連製品	不動産賃貸	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,007,661	84,756	5,092,417	—	5,092,417
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,007,661	84,756	5,092,417	—	5,092,417
セグメント利益又は 損失(△)	92,858	47,792	140,651	△166,923	△26,272

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△166,923千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。